

武蔵野市の将来を考える市民会議 傍聴者アンケート
第2回 集計結果

傍聴者8名のうちアンケートに回答したのは6名

- ①はじめに、このアンケートに回答される方についてお尋ねします。
該当する部分を○で囲んでください。

1	市内在住	3人	吉祥寺本町、緑町、境南町
2	市内在勤	0人	
3	市内在学	1人	
4	その他	2人	横浜市、不明

性別

男性	5人
女性	1人

年齢

10歳代	0人	60歳代	0人
20歳代	3人	70歳代	1人
30歳代	0人	80歳以上	0人
40歳代	0人	未回答	1人
50歳代	1人		

- ②今回の市民会議を何でお知りになりましたか？ (複数回答あり)

1	市報	1人
2	市ホームページ	2人
3	友人知人の紹介	2人
4	その他	0人
	未回答	1人

- ③今回の市民会議で印象に残った、または興味のある議論や課題がありましたら記入してください。

- ・行政に頼らない覚悟と行政にしかできない部分の調和
- ・新しい公共のあり方
- ・市民自治、協働、民間事業者の活用、PFI、指定管理者制度等の位置付け、メリット、デメリットの議論
- ・市民が高い意識をもって生活していくかが重要。
- ・行政と市民がどう関わっていくか。
- ・一般に男性は市外で働いて来た人が多く一般的知識、能力はあるが市民としてネットワークや市の実情の情報に欠ける点がある。女性は子育てで市内生活問題点に対する情報あるPTA等でネットワークも持つ。両方の特質を活かした市民参加方策をするべき。
- ・他に、別紙1、別紙2のご意見もありました。(長文のため、別添とする)

④その他、ご意見・ご感想などありましたら記入してください。

- ・とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・市民も行政も力を付けるには、議論が第一歩だと思いました。
- ・オープンカフェができる良いと思いました。
- ・市全体がどうレベルUPしていくかが今後の課題であり取り組む価値があると思います。
- ・他に、別紙1、別紙2のご意見もありました。(長文のため、別添とする)

ご協力ありがとうございました。

武蔵野市の将来を考える市民会議
委員の皆様
事務局の皆様

武蔵野市緑町在住
[REDACTED]

皆様、日々お忙しいなか大切な時間を割き、熱心にご議論いただいておりますことに感謝申し上げます。

また、事務局の皆様も論点整理や資料準備等、ありがとうございます。

先日、第 2 回会議を傍聴させていただきました。以下にその感想を記させていただきます。

第 1 回会議の内容が分かりませんので、第 5 期基本構想・長期計画の策定における市民会議の役割を承知しておりませんし、皆様のこれまでの議論にそぐわない部分が多かろうと思いますが、配布資料等からの推察で述べさせていただきます。ご笑覧ください。

【資料 2】今後のテーマ（案） から

- ・ 障がい児や障がい者が住みつけられる街であることも重要なテーマと考えます。
- ・ 防災（設備・体制・市民ネットワーク）の強化というテーマも必要と考えます。
- ・ 事務局の皆様にお伺いしたいのは、キーワードの中で市として問題意識を抱えている項目（要は委員の皆様と共通認識となっている項目）はありますか？
また、市としては意識していなかった項目はありますか？
行政に頼る頼らざるに関わらず、施策の展開には市民と行政の共通認識が必要と考えます（納得して納税するという意味からも）。
その前段として、施策を行う行政としての視点と施策を受ける（もしくは求める）市民の視点の違いを是非一度明らかにしていただきたいと思います。

【資料 3】個別計画一覧 から

- ・ 現在、50 以上の計画が進んでいるということですが、それらの整合性を図ることも第 5 期計画の目的かと推察します。その場合、各々の計画と市民会議の議論はどこで交錯するのでしょうか？
各計画を一つひとつ検証する時間は無いはずですので疑問に思いました。
- ・ いずれ設置される策定委員会の議論を展望した際、この市民会議で検討されなかったテーマも当然検討されることと思います。そのことを踏まえて策定委員会を見ると、

策定委員会での議論が唐突な感じを受けるのかと思いました。

もしくは、策定委員会の議論が進んだときに、市民会議は何を話し合っていたのか？という疑問が湧くことになる気がしました。

【資料 4】議論のテーマ・フレーム比較 から

- ・ C案の3つの視点は、「基調」というか、議論の整理の方法だと思いました。
- ・ 事務局案にせよB案にせよ、各テーマに対して、C案の3つの視点を基に整理する方法もあったのかと思いました。

第1の視点・・・現在まで築かれてきたものを「使う」「保つ」「継承する」

第2の視点・・・リスクを回避して、持続可能な社会を自助・共助・公助で「支える」

第3の視点・・・新たな都市像・都市文化を「創造する」

- ・ 第1の視点には「見直す」「廃棄する」が必要だと思いました。
- ・ 第2の視点にある「リスク」が何を指すのか、何を「持続可能」させたいのか、委員お一人おひとりで違うでしょうから、具体的にお伺いする機会があれば良かったです。

【会議の中から】

- ・ 保育園の設置を駅内にというご意見があったかと思います。確かに大都市圏辺りではそういった意見が散見します。

しかし、保育園を利用して初めて分かりますが、駅に近いことより住宅圏にあることが重要です。保育園を利用するのは仕事を持っている保護者です。当然、雨風に関わらず勤務に向かいます。子どもを自転車に乗せて雨風の強いなか駅まで行くより、居住先近くの保育園に子どもを預け駅まで向かう方が何より安全です。

駅近くにすんでいる方は「駅内・駅ビル・駅近く」で移動最中は何ら問題ないでしょうが。

また、将来的に地域コミュニティという事を考えると、住宅圏に設置されている保育園は近隣住民や商店街との接点も生まれており、子どもを通じて保護者が地域に根付くきっかけともなっていることをお伝えしたいと思います。

以上、提出させていただきます。乱文、乱筆はご容赦ください。

今後、皆様のさらなるご議論に期待しております。

武蔵野市の将来を考える市民会議(第2回)に関する傍聴意見

境南町在住

[Redacted Name]

委員の皆様、担当職員の皆様、御苦労様です。

8月12日の市民会議を傍聴させて頂きました。その内容について、いくつか意見を述べたいと思います。

1. 自助・共助・公助について

市民会議の中では自助を強調される意見がりましたが、自助・共助・公助のバランスは、関連する分野や状況に応じて異なるのではないかと思います。例えば、防災に関しては、まず「大事なものは自助」であり、その上で「地域社会での共助の取り組み(災害時要援護者支援事業など)」を組み立てることや、防災センターで市内全域の状況を把握し、医療関係者や物資を供給する公助の取り組みが必要になります。しかし、障害を抱えた人や高齢者などは、その人の状況が深刻であればある程、その人の生活の基礎的な部分(住居・収入・医療・生活支援など)をまず公助で支え、地域生活上の主な細かいサポートを共助で行ない、その上でその人が自分でできることをサポートし、自助の部分も少しずつも増やしていく、ということになると思います。

このように、自助・共助・公助の組み合わせとバランスを考慮して新たに施策を組み立てる必要があると思いますが、一つのポイントは、共助の創出と活性化ではないかと思っております。

2. コミュニティ・NPO・市民活動の支援と協働

これからの市民の共助の核は、コミュニティとNPO・市民活動(これを武蔵野市では地域コミュニティ・目的別コミュニティと呼んでいます)だと思います。

地域コミュニティには自主原則があり、各コミュニティで自主的に運営が行なわれていますが、個々のコミュニティは各々異なる課題を抱えているというのが現状です(第6期コミュニティ市民委員会報告)。

目的別コミュニティはNPO法施行後、NPOは増加しましたが、維持・継続が難しく解散するケースも増えてきています。また、市民活動を新たに始めようとしても、場所・資金・人材・運営・会計等の課題があり、始められないケースもあります(男女共同参画意識調査)。

これらの共助の仕組みを活性化、あるいは創出していくために、協働の原則にのっとり、協働を目的とするのが必要です。そのために、まず「コミュニティの困りごとや、維持・活性

化にむけて必要なことを調査・検討し、個々にサポートすることが必要だ”と思います。
各種コミュニティが共助の一翼を担う活動として自立し、市との協働のパートナーとして活躍
ための支援が、まずは必要なのではないでしょうか。

3. 計画

市民会議でも触れられていましたが、現在進行中の計画（第4期長期計画・調整計画も
その1つです）を、評価・検証し、修正したり、新しく加えたりし、取り組みをすすめる
必要があります。第5期基本構想・長期計画を新しい視点から考えることもいいと思いま
すが、これまでの計画とこれに基づいた取り組みが、あつたわけですから、これに対する
評価・検証をふまえた上での新しい提案と、それにかかわる意見交換が行なわれること
を期待します。

さらに、武蔵野市第2次男女共同参画計画については計画策定後、
計画の進捗状況の確認と課題解決のために提案する、という役割を担った市民会議が
開催されたいです。他の計画についても、このような会議が開催され、計画の進捗状況に
ついて評価・検証するものがいいと思います。

以上、今後の市民会議で検討いただければ幸いです。よろしくお願ひ申し上げます。

会議の進め方についての提案

① 発言のバランスを考慮する

10名中2名は会議中に1度しか発言していなかった。一方で5回も6回も発言する方がいた。積極的に発言をすることはいいことだと思うが、司会は発言の少ない方にも話題をふったり意見を求めたりするとよいと思う。

② 枠組みに沿った進行について

今後の会議のテーマが冒頭決定されたが、議論の途中で話題がずれることがあった。(例えば自助・共助・公助の話題がでたが、それは次回のテーマでは?)

テーマに沿って話題が進むように、司会は発言の整理や確認をしつつ進行した方がよい。

(例：今の話は〇〇についての発言ですね。)

